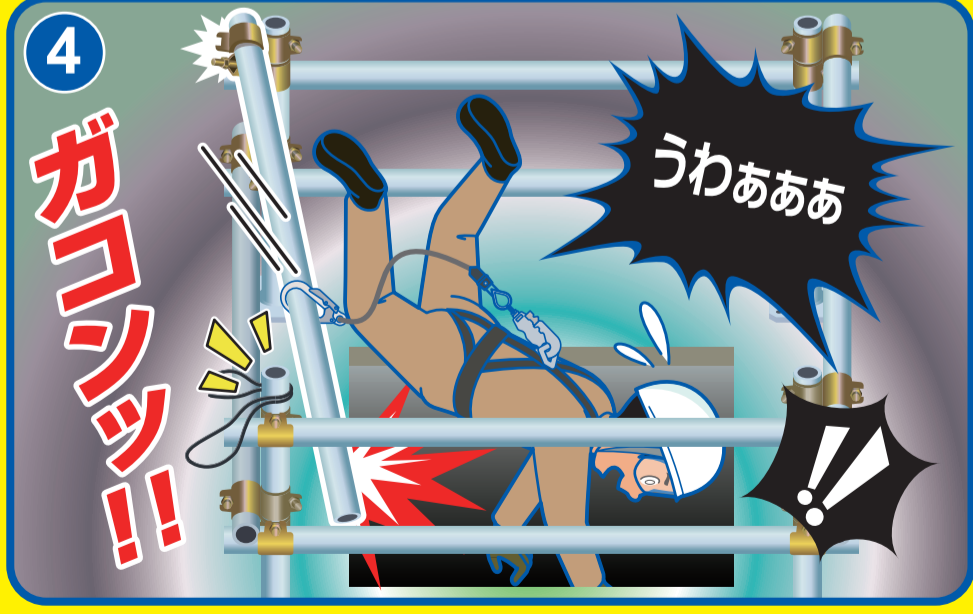
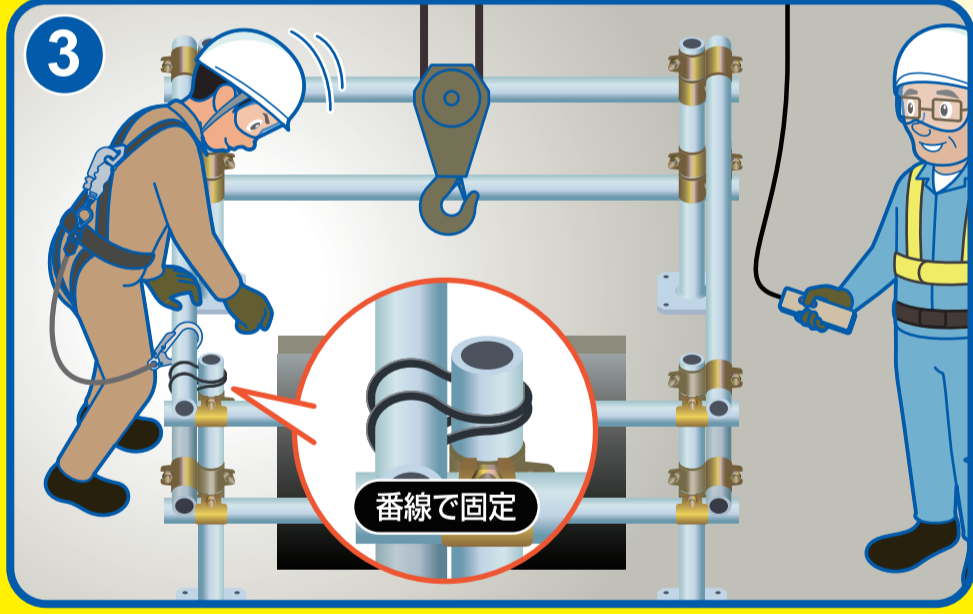
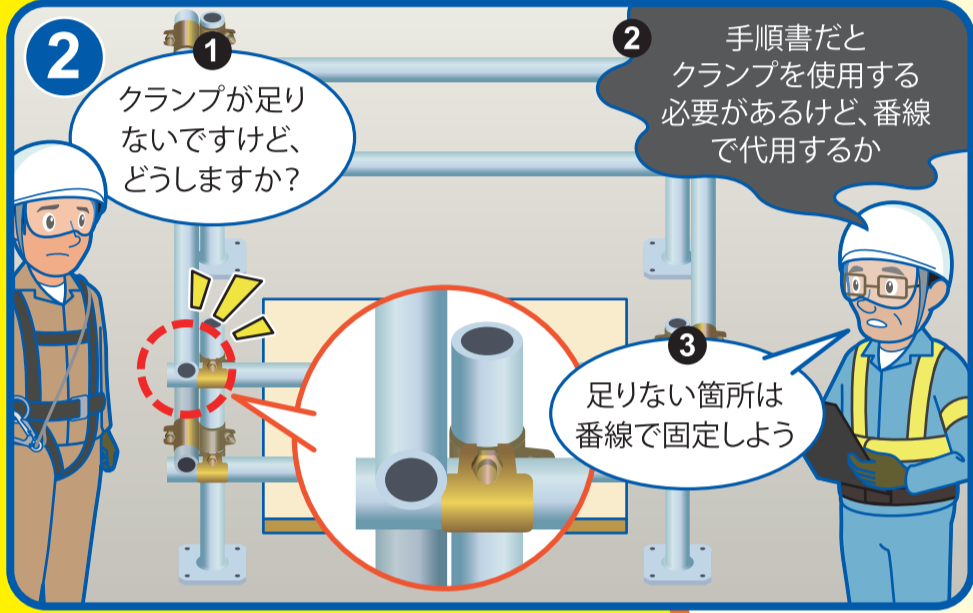
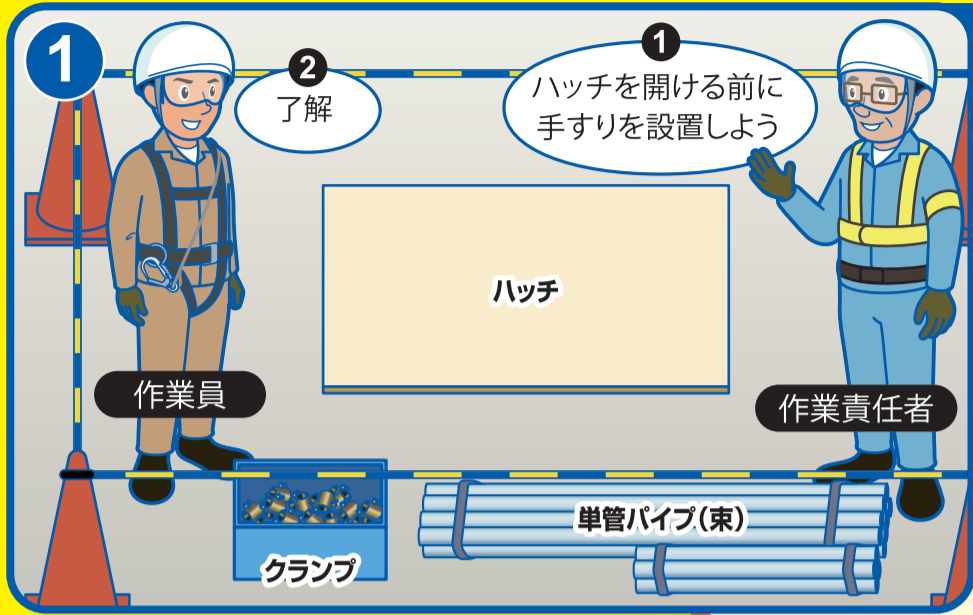


手順書の使用と遵守



ヒューマンパフォーマンスツール ⑩

何のため?

- ・手順書の意図や目的を理解した上、手順書のとおり作業を行うことでトラブルの発生を防止するため

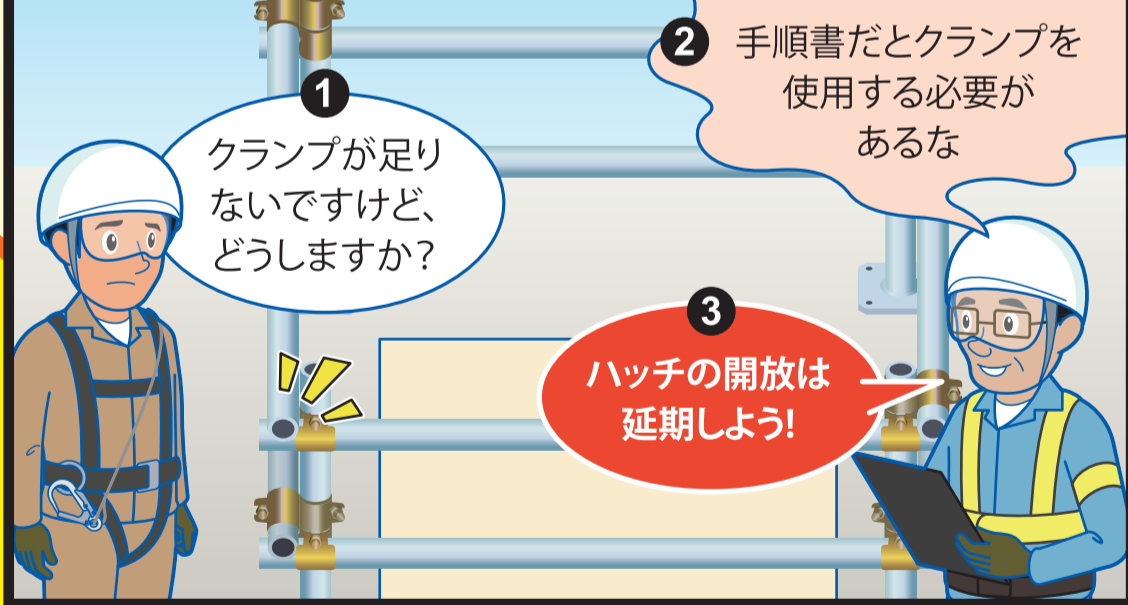
いつ使う?

- ・手順書に基づく作業(操作、点検、監視、分析等)を行うとき

どう使う?

- ・使用する手順書があるか、手順書が最新版であるか確認する
- ・作業を開始する前に手順書をレビューし、意図や目的を理解する
- ・手順書が、環境、時期、設備や機器に対して適切であるか検証する
- ・影響を認識したうえで、手順書に従い確実に作業を行う
- ・以下の場合は直ちに作業を中断し、監督者に報告する
監督者は手順をレビューし、手順書の変更、作業の中止・復旧などを決定する
 - ①手順書が見当たらない
 - ②手順のとおり作業ができない(手順の変更を求められた場合を含む)
 - ③手順のとおり作業を行うとトラブルが発生するリスクがある
 - ④手順書が技術的に正しくない
 - ⑤手順書が別の手順書と矛盾する
- ・手順書に改善すべき点あれば報告し、再度利用するまでに確実に見直す

手順書に従った安全かつ正確な作業ができない場合は中断し、修正してから再開しましょう!



手順書に従って作業するのはもちろんだが、何も考えずに使用してはダメじゃ! 現場の状況に合わないなどで迷ったら、作業を中断・支援を求め、必要ならば手順書を修正してから再開すること!



Dr.ジャン・シー

ヒューマンパフォーマンスツールは、起こりうるエラーを予測し、感知することで、エラーや事故を防止しやすくするためのものです。このポスターは、事例を参考に安全啓発資料として編集・作成しました。